



かぜくも

いわき支援学校
地域支援センター通信 No. 18
R2. 2. 28発行

「ちょっとだけ見方、考え方を考えてみませんか」

教頭 加藤 一之

この言葉は、私が相談員として相談支援を行っていた頃に伝えていた言葉です。大きくではなく「ちょっと」だけでも見方、考え方を変えることができれば…関わる人の子どもへの支援や気持ちも変わるのではないのでしょうか。

「子どもの言葉(話す、伝える)」について

- 言葉の本質は曖昧なもので伝わりにくいものです。子どもの「分からない」の根幹には「伝わっていない」ことが多く、丁寧にかつ意図的に伝えることを意識することが大切です。

「子どもの見方」について

- 課題があると思い込むと関わりは課題に焦点化しやすく、子どもとの関係を難しくすることが多いようです。課題より良いところを見ようとする意識を忘れないようにしましょう。
- 「大人は褒める人?叱る人?」子どもは褒められることで、大人への信頼が構築されます。本当に困ったときに相談できる存在にもなれます。大人への信頼を構築する段階では、安心感を得ようとする段階であるとも言えます。
- 一番困っているのは子どもではありませんか。子どもたちが何に困っているのか、それは大人の考えとのズレはないか。子どもの気持ちになって考えると改善の方向が考えやすいものです。

「子どものつぶやき」について

- 子どもは、困っている状況を言葉ではなく行動で示します。これは言葉での十分な説明がなされないだけで、行動や表情、仕草、つぶやきで伝えていきます。この微細な SOS を拾うことが大切であり、解決するためだけではなく、気づいてくれた、分かってくれたという安心感を与えるためであるとも考えています。

「子どもの気持ち」について

- 子どもも人に必要とされているという自己有用感または、自分ではできるという自信や自尊感情があります。これらについて、自己肯定感を高めるだけではなく、失わせないようにするための関わりや見方が大切であると考えます。

就学前のお子さんの遊びの場 かぜくもひろば

今年度は6月から1月に計6回かぜくもひろばを開催しました。毎回10名ほどのお子さんとその保護者の方々に参加していただき、様々な遊びや先生とのかかわりを楽しみました。継続してかぜくもひろばに参加してくれたお子さんも多く、回を重ねるごとに積極的に遊びを楽しむ姿が見られました。

お集まりでは、歌に合わせてタンブリンを鳴らしてお返事をしてもらいました。みんな上手にタンブリンを鳴らして元気にお返事ができました。パネルシアター「ふしぎなたまご」では、たまごの中から何が出てくるか注目して見たり、前に出てきて先生と一緒にたまごの殻を開けたりと楽しんで見ることができました。ふれあい歌遊び「パン屋さんにお買い物」では、お母さんと一緒に歌に合わせて、頬に手を当てたり、鼻や耳をつまんだり、最後はくすぐったりとふれあい遊びを楽しみました。

保護者の皆さんからは、「回を追うごとに慣れてきたのか落ち着いてきているのが実感できました。」「いつも楽しみにしていてお友達や先生方とかかわることのできるが増えました。」等の感想をいただきました。





子どもたちに豊かな体験を



教育支援アドバイザー 鈴木 貞安

我が子や近所の子のエピソードを家内と話すことがあります。私の末の娘が4歳のころの出来事ですが、小学2年の姉がいたずら心で末の娘に桜の葉を渡し、「これでお菓子が買えるから行ってきて」と言われて近くのお店にお菓子を買に行ったのです。店のおばさんは、それには困ってしまったと思いますが、本人のほしいお菓子を渡してくれたのです。また、近所の小学4年生の男の子は、ほしいものを買えるだけの代金を持ち合わせがなく、「出世払いするからまけてください」というようなことをいって買い物をしていた様子も見たことがありました。

子どもたちが小遣いを持ってお店に買いに行く貴重な社会体験のできる環境でした。店の主人のかかわりも何となく懐かしさを感じたものです。今の子どもたちは、殆ど保護者の同伴での買い物が多く、代金を払うのもまかせっきりの多いと思います。

子どもたちが、お店で物を自分で買うときに様々な思考が働きます。例えば比較思考では自分の基準である選択力、見通しをつける手持ち金、残金などの計算・活用力など、生活に密着した非認知能力が働きます。それが、子どもにとって豊かな体験となっていくのだと思います。



地域支援センターかぜくも活動状況



○幼・保・小・中・高の先生方の研修支援

ミニセミナー (64名)

○かぜくも相談 (127件)

・電話、来校相談 (106件)

・出かける支援 (21件)

○早期教育の充実

・かぜくもひろば (57名)

・かぜくも相談<就学前> (44名)

・学校見学会 (48名)

・かぜくも教室 (30名)

今年度を振り返って



今年度も、昨年度に引き続き教育支援アドバイザーが配置され、地域支援センターの担当とともに、早期教育相談や出かける支援・電話来校相談などを行ってきました。

“地域支援センターかぜくも”が設置されて6年となり、地域の方々のご理解を得ながら「かぜくもひろば」や「かぜくも教室」、「ミニセミナー」などに毎年多くの方に参加していただいております。次年度も引き続き「かぜくも」の充実を図ってまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

